

# らぶれた

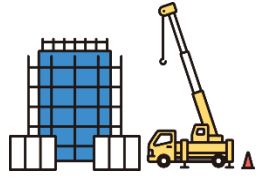
2026年  
7月号  
vol.109

発行：株式会社ラプロス  
発行人：代表取締役 樋口 繁樹  
〒810-0001  
福岡市中央区天神1丁目12番1号  
日之出福岡ビル5階  
TEL 092-737-2211  
FAX 092-737-2212  
弊社HPは下記よりご覧頂けます。  
<http://www.lapros.co.jp/>  
編集担当：大下



暑い日々が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。夏本番を迎え、暑さの厳しい季節となりました。体調管理に気を付けながら、水分補給を忘れず、夏ならではの時間を楽しんでお過ごしください。

## マンション再生 奮闘中日記

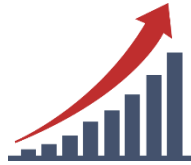


昨年春から取り組んでいる仕事の一つに、とある沖縄のマンション再生事業があります。

当の仕事現場というのは、1966年に竣工し1972年に増築した鉄筋コンクリートブロック造の建物です。沖縄の日本返還前の建物ということになります。定期的な大規模修繕工事などのメンテナンスを行っていなかったこともあり、最上階の4階は天井の構造体が劣化によって崩壊し室内にコンクリートの塊が積もっている住戸（もちろん空室）もあるくらい、ひどい劣化状態です。

「マンション再生法」に則って進めて行くのですが、再生事業の途中で外壁剥落などにより通行人や居住者に事故が起きると大変なので、今現在は道路に面した外壁面を落下防止用のネットで覆っています。約1年後を予定している解体更地化までチーム一丸となって走り抜いていきたいと思っています。

沖縄といえば平成22年～平成29年まで通ったマンション建替え案件がありましたので、8年ぶりの仕事です。でも沖縄（特に那覇市）も福岡と同様に大きく変わっていました。新築マンションの価格がなんと当時の3倍！航空券も2倍、宿泊費も2倍。でもそれも痛いのですが、個人的には那覇市役所の食堂が無くなったのが一番痛いです。2階のテラスと一体化した開放的な食堂で、ゴーヤチャンプル定食やみそ汁定食など、沖縄なら



ではのメニューが好きで、市役所に用事がない時も立ち寄っていました。‘孤独のグルメ’ではないけれど、出張先のお昼ごはんとか、夜の居酒屋とかは楽しみではありますね。経費削減でなかなか泊まれません・・・。

当時の組合理事会は、理事会はお昼の時間に集まって皆で食事を取りその後会議を始める、というのがパターンになっており、会ごとに理事さんがお店を決めてそこに集まるのですが、ファミレス含め色々なレストラン（時には喫茶店）で食事を頂きました。

今回はというと、これも市場の中の会議室で総会・理事会をやる関係上、時々終了後にやる懇親会では、市場で調達した練り物や乾きもので一杯、なんてこともあります。沖縄ならではの「モアイ」文化からきているのか、みんなが気心のしれた仲間になっていく感じがして、とても心地良い時間ですね。厳しい局面を乗り切っていくマンション再生現場も地域、県民性によって進め方に個性があるので、個々の現場の進め方に寄り添いつつ、方向性・軌道を作っていくのが楽しみな仕事でもあります。

ということで、明日は午前7時発の那覇行きで日帰りという強行軍ですが、組合員、関係者で美酒を飲めるよう、早起きしてレッツゴー！



代表取締役 樋口 繁樹



## 久方ぶり本屋さん

文：樋口 恵子



久しぶりに、本屋さんへ足を運びました。きっかけは、ニュースで目にした「2026年度本屋大賞」。受賞作である『イン・ザ・メガチャーチ』が気になり立ち寄ってみました。



もともと、読書が趣味というほどではありません。けれど、天神の再開発“ビッグバン”が始まる前は近くにあったジュンク堂書店に時々立ち寄り、気になる本を眺めながら店内を歩くのは好きでした。再開発が始まってからは、自然と本屋さんからも足が遠のき、本そのものへの興味も少し薄れていた気がします。

ところが、久しぶりに本屋さんへ入ると、“読み散らかしの達人”が戻ってきました。小説だけではなく、料理、インテリア、園芸、グルメ…。あれこれと棚を巡りながら、「これも面



ジュンク堂書店(移転前)

白そう」「あ、これ見てみたい」と、つい時間を忘れてしまいます。

特にこの時期は、薔薇が美しい季節。これまで何度も挑戦しては断念してきた薔薇づくりですが、園芸コーナーで育て方の本を見つけると、すぐにでも園芸店へ走り込みたくなるほど気持ちが高まります。



趣味の本というのは、内容だけでなく、写真や色合い、紙の質感まで含めて、目からワクワクを届けてくれるものなのだなどと改めて感じました。

もちろん、デジタル書籍の便利さもよく分かります。持ち歩かなくても、いつでもどこでも読みたい本に出会えますし、文字を大きくできるのもありがたい(笑)。調べものもすぐでき、忙しい毎日の中ではとても便利な存在です。特に料理のレシピなんて！



それでも今回、本屋さんで手にした一冊には、デジタルとはまた違う“重み”のようなものを感じました。表紙や帯に込められた想いは、これから始まる物語への入口であり、序章のような存在です。ページをめくる感覚や、本を閉じた時の余韻には、



紙の本ならではの魅力があるのだと思います。

私は相変わらず“読み散らかしの達人”ですので、一冊を読み終えるまでにはかなり時間がかかります。それでも、ウトウトしながら自分のペースで本を読む時間は、デジタル化が進む今だからこそ、どこか贅沢で大切な時間のように感じます。

読書好きの夫も、ここ数年はスマートフォンを片手に過ごす姿が定番になりました。リフォームの際に設えた本棚も、今では私の“負の遺産”であるDVDやCDに占領され、我が家の本たちもずいぶん少なくなりました。



それでも、本というのは不思議なもので、表紙のデザインなどもいつまでも記憶に残り、夢中になって読んでいた頃の空気までも、一緒に残っています。便利なデジタルの時代だからこそ、“本を手取る時間”には特別な価値があるのかもしれない。

そしてこの夏♪！嬉しいことにジュンク堂書店がまた近くに戻ってきます。またふらりと立ち寄って、自分のペースで楽しめる“次の一冊”に出会えるのを、今から少し楽しみにしています。



# なんだかんだ、 この仕事が好きです

～「三方良し」をめざして～

文：赤澤

朝一番、オフィスに広がるコーヒーの香りで私たちの1日は始まります。朝のコーヒーは、私がラプロスに入社する前から続く伝統的な習慣です。10年ほど前、毎朝早起きをして再開発プランナー（建替えアドバイザー）の勉強をしていた頃から、私がコーヒー担当になりました。

毎朝、会社の仲間が飲むコーヒーを淹れること。それは私自身が頭をスッキリさせて仕事に臨むためであると同時に、入社した仲間たちが気持ちよく仕事を始められるようにという想いも込めています



（元々そういう想いで始まったことだとは思いますが、）。些細なことでは

ありますが、ちょっとしたことや、ついでにできることで人の役に立ちたいという気持ちは、いつも持ち続けているつもりです。

私の仕事観の根底にあるのは、近江商人の心得として知られる「三方良し」です。人生観において「人のため、地域や社会、地球のためになるこ

と」を重んじる私は、ビジネスにおいてもお客様、自分・会社、そして社会の全方向で「Win-Win」の関係を目指したいと思っています。特に、ご縁のあった方々とともに仕事を成就させたり、後輩やチームが目標を達成した瞬間に喜びを分かち合えたりすることに、何よりのやりがいを感じます。

この「三方良し」の精神は、私たちが手がける戸建住宅や宅地の分譲事業でも具現化していると思います。

例えば、道路が狭く入り組んだ場所も多い福岡市内の城南区別府エリアや南区井尻エリアなどにおいて、私たちは単に土地を売ったり家を建てたりするだけでなく、道路の整備やセットバック（道路後退）を行うことがあります。もちろん、

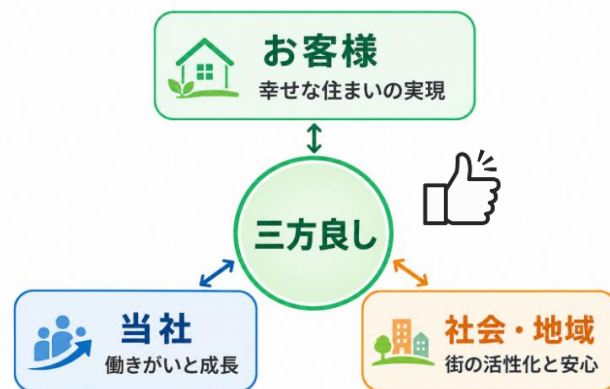


購入されるお客様にご満足いただくことが最優先です。そのため、そうしたニーズのある住宅用地を仕入れられるよう、お取引先様や売主様にもご協力いただきながら取り組んでいます。道路が広がることで、救急車や消防車などの緊急車両がスムーズに通行できるようになり、地



域全体の安全性が向上します。また、老朽化して危険だったブロック塀が安全なものへと変わり、若いファミリー層が移り住むことで街に活気生まれます。さらに、夜道が明るくなることで防犯効果も高まります。

利他とまでは言えないかもしれませんが、自己満足な面もあると思います。しかし、目の前のお客様に幸せな住まいや場所を提供することが、結果として地域への貢献や安全な街づくりにつながっていると感じています。



これからも、毎朝の一杯のコーヒーから始まる「良い仕事」の連鎖を大切にしながら、らぶれたーを読んでくださっている皆様や出会った方々のご縁を大切に、お客様・お取引先様、当社、そして地域社会にとっての「三方良し」の仕事仲間とともに追求していきたいと思っています。

新コーナー

## おうち時間の過ごし方

～朝ごはん～ 文：渡辺



子どもがなかなか朝ごはんを食べてくれないので、平日の朝は「混ぜごはんおにぎり」を一緒に作ることにしました。毎日少しずつ食材を変えています。私が混ぜておにぎりにして渡しても食べないので、混ぜるところからが自分のお仕事です。私がボウルとごはんを用意し、その日に入れる食材を料理番組のように小皿に分けて並べます（離乳食で使っていた小皿が、まさかここで再登場するとは…）。

ある日の食材は、枝豆・塩昆布・いりごま・チーズ。子どもが自分で食材とごはんをボウルに入れて軽く混ぜ、そこから私にバトンタッチ。食材が均一になるように混ぜたら、トレイにラップを敷き、子どもが自分で食べたい量をラップにのせます。私が包んだら、仕上げは子どもが自分で握っておにぎりに



します。

するとどうでしょう。朝ごはんいらぬ星人だった2歳児が、おにぎりにかぶりつくようになりました。「もう1個食べる！」と言う日もあれば、「とーしゃん（お父さん）の分もつくる！」と張り切る日もあります。

そんなわが家の2歳児に好評だった、混ぜごはんおにぎりTOP3はこちらです。

- 第1位：高菜炒め・ハム・いりごま
- 第2位：しらす・塩昆布・いりごま・チーズ
- 第3位：コーン・おかか・いりごま・チーズ

高菜が大大大好きなので、不動の1位です。そしてお気づきかもしれませんが、いりごまは毎回入ります。どうやら「お料理している感」が出て楽しいようです。

「朝ごはん食べる気しないな…」という日にもおすすめです。作っているうちに不思議と食欲が湧いてきます。子どもはもちろん、家族と一緒に作ってみると、朝の気力アップにもなりそうです。



新連載

## しんぺい日記

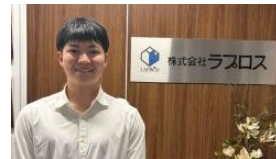
—はじめての重要事項説明—

文：今任



先日、お客様に対して初めて重要事項説明を行いました。事前の練習の際にも、読めない漢字や意味のわからない言葉が思ったより多く、1時間30分以上文章を読み続けることも初めての経験でした。声に出して何度も読み返し、わからない言葉はその都度調べながら内容を理解していきました。本番当日は先輩に助けをもらい、なんとか無事に終えることができました。後日、先輩の契約に同席した際には、スムーズでわかりやすい説明を間近で見て、自分もこうなりたいと感じました。

それにしても最近の暑さは本当にこたえますね。まだ夏本番でもないのに、真夏になったら一体どうなってしまうのか今から心配です。夏バテに負けないよう頑張っていきたいと思っています。



## ご紹介キャンペーン

住宅・土地のご購入を検討されているご家族様・ご友人様をご紹介ください



ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者様からの紹介でご成約に至った場合

家や土地を売りたい方もぜひご相談下さい！

「プロスペリテ」HPはこちら



「プロスペリテ」Instagramはこちら



## 編・集・後・記

文：大下

コバエが気になる季節がやってきました。我が家ではどんなに気を付けていても、毎年どこからか侵入してきて大変なストレスになっています。やはり主な発生源は生ごみなので、こまめに処理するよう心掛けています。ディスプレイの

あるお宅が羨ましい！そんな中、今年から福岡市でも乾燥式生ごみ処理機の補助金制度がスタートしたので、早速申請しました（6月中旬時点ではキャンセル待ちのようです）。しかし今年5月の時点で猛暑日もあり、真夏にはコバエも生きていられないのでは…？と密かに期待しています。

らぶれたーのご意見・ご感想をお聞かせください！

ラプロスの広報誌「らぶれたー」は2008年12月に創刊し、今号で109号となります。ここまで発行を続けることができたのも、温かく見守っていただいた皆さまのおかげです。皆さまのご意見ご感想をぜひお聞かせください！

住所：福岡市中央区天神1-12-1-5F  
FAX：092-737-2212  
MAIL：info@lapros.co.jp  
「らぶれたー係」まで